

スポーツの裾野の拡大に向けて

“魅せる”観点からのアクションプラン策定に向けた方向性の整理(案)

1. 検討の大きな視点・方向性

- より多くの人にその魅力を伝え、スポーツに興味・関心を持たせることが、その第一歩。

競技団体における課題例

- スポーツを広く周知したい認知してもらいたいという思いがある一方で、その広報について、新しい手段の採用も含め方法を検討する余裕がない。
 - 方法案がある場合でも、他分野における特定の相談・連携できる相手がいない。
- そのためには、特にICTを活用し、効果的かつ効率的な情報配信方法について、分野横断的に具体化・実現を目指すことが有効。
 - また、上記の取組みを継続し実行していくためや、その他具体的な利活用方法の検討等に向け、競技団体とICT関係者などの人材・情報の交流の場づくりも重要。

2. アクションプランの方向性

○ 効果的かつ効率的な情報配信方法の確立及びその実行

- ・個人の趣味・嗜好を踏まえた情報配信や魅力あるコンテンツの配信を可能とすることで、スポーツに関心のある層を拡げる。
- ・上記の実行にあたり、スポーツ分野、ICT分野の人材が共同で推進できる体制を検討する。